

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-167334  
(43)Date of publication of application : 23.06.1998

(51)Int.Cl. B65D 81/20  
B65D 51/16  
B65D 85/50

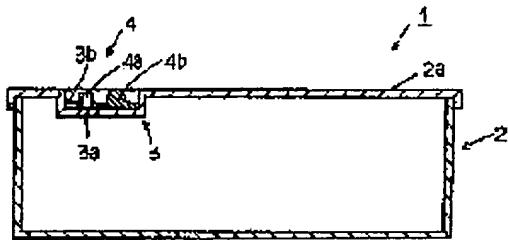
(21)Application number : 08-355940 (71)Applicant : KUTSUMO KANAGATA:KK  
(22)Date of filing : 03.12.1996 (72)Inventor : ITO YUICHI

## (54) CONTAINER WITH OPEN/CLOSE VALVE FOR VENTILATION

### (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To allow air in a container to be removed reliably with a simple structure and also allow the container to be sealed easily by providing an open/ close valve which can be moved right and left equipped with an insertion hole for inserting an air vent pump tube inside a recess equipped with a through hole formed on a part of a container body.

SOLUTION: A recess 3 equipped with a through hole 3a and a stopper 3b for locking an open/close valve 4 is formed on a part of a lid 2a of a container body 2. An insertion hole 4a for inserting an air vent pump tube is included inside the recess 3, while the open/close valve 4 formed with a pinching tab 4b and comprising locking parts positioned below the stopper 3b protruding and which can be moved right and left is provided inside the recess 3. At the time of removing air from a container 1, the open/close valve 4 is moved right to have the through hole 3a and the insertion hole 4a connected with each other, and then the air vent pump tube is inserted into the insertion hole 4a. Then the air vent pump is operated to remove air in the container body 2, and thereafter the valve 4 is moved left for sealing the through hole 3a and the tube is drawn out.



### LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-167334

(43)公開日 平成10年(1998)6月23日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>  
B 65 D 81/20  
51/16  
85/50

識別記号

F I  
B 65 D 81/20  
51/16  
85/50

B  
B  
A

審査請求 未請求 請求項の数2 書面 (全3頁)

(21)出願番号 特願平8-355940

(22)出願日 平成8年(1996)12月3日

(71)出願人 596175887  
有限会社九十九金型  
広島市安佐北区上深川町越原1373の1

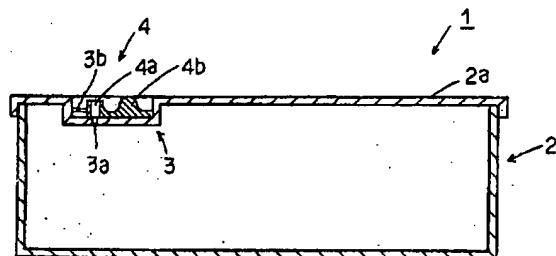
(72)発明者 伊東 勇一  
広島市安佐北区上深川町越原1373の1 有  
限会社九十九金型内

(54)【発明の名称】 空気抜き開閉弁付き容器

(57)【要約】

【課題】 簡単な構造により確実に容器内の空気を抜き取れると共に、密閉度の高い空気抜き開閉弁付き容器を提供するものである。

【解決手段】 容器本体の一部に透孔を設けた凹部を形成し、凹部内に空気抜きポンプの管を挿入する挿入孔を設けた左右に移動可能な開閉弁を内設し、管を挿入孔に挿入したまま開閉弁を水平方向に移動させ、透孔を密閉してなる空気抜き開閉弁付き容器。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 容器本体の一部に透孔を設けた凹部を形成し、凹部内に空気抜きポンプの管を挿入する挿入孔を設けた左右に移動可能な開閉弁を内設し、管を挿入孔に挿入したまま開閉弁を水平方向に移動させ、透孔を密閉してなる空気抜き開閉弁付き容器。

【請求項2】 容器本体の一部に透孔を設けた凹部を形成し、凹部内に空気抜きポンプの管を挿入する挿入孔を設けた回動可能な開閉弁を内設し、管を挿入孔に挿入したまま開閉弁を回動させ、透孔を密閉してなる空気抜き開閉弁付き容器。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、主に食品等を入れて長期保存するため、容器内の空気を抜き取り減圧する空気抜き開閉弁付き容器に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来、この種の空気抜き開閉弁付き容器としては、実開昭62-76173号公報記載のようなく、容器本体1内に物を出し入れする出入口2に密閉手段3を設け、本体1の適所に、本体内の空気を吸引する簡易ポンプの接続部となる吸引孔4と、吸引孔の内方に設けた逆止弁5と、吸引孔4の開口を閉じる栓蓋16とから成る減圧弁7を設けて成る真空容器が開示されている。

【0003】しかしながら、上記従来の真空容器では簡易ポンプを吸引孔に取り付け、逆止弁を介して容器内の空気を抜き取り、抜き取り後簡易ポンプを取り外し、栓蓋にて密閉している。

【0004】この方法では、逆止弁でまず簡易的に密閉するが、隙間から空気が微量入り込み易く、栓蓋をする間の時間が多く掛る程、空気流入量が多くなる問題点を有するものである。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】この発明は、上記問題点に鑑みされたもので、簡単な構造により確実に容器内の空気を抜き取れると共に、密閉度の高い空気抜き開閉弁付き容器を提供するものである。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】上記を達成する手段として、容器本体の一部に透孔を設けた凹部を形成し、凹部内に空気抜きポンプの管を挿入する挿入孔を設けた左右に移動可能な開閉弁を内設し、管を挿入孔に挿入したまま開閉弁を水平方向に移動させ、透孔を密閉してなるものである。また、容器本体の一部に透孔を設けた凹部を形成し、凹部内に空気抜きポンプの管を挿入する挿入孔を設けた回動可能な開閉弁を内設し、管を挿入孔に挿入したまま開閉弁を回動させ、透孔を密閉してなるものである。

## 【0007】

10

20

30

40

【発明の実施の形態】以下、この発明の実施例を図面に基づいて詳細に説明する。空気抜き開閉弁付き容器1は、容器本体2の蓋2aの一部に透孔3a及び後述する開閉弁を係止するレール状のストッパー部3bを設けた凹部3を形成し、凹部3内に空気抜きポンプの管(図示せず)を挿入する挿入孔4aを設けると共に、撮み片4bを形成し、底部両側に上記ストッパー部3bの下方に位置する係止部4cを突設してなる左右に移動可能な開閉弁4を内設してある。

【0008】つぎに、使用例を説明する。

- 1)、蓋2aにおける凹部3の透孔3aと開閉弁4の挿入孔4aとを連通させるべく開閉弁4を右方向へ移動させる。
- 2)、挿入孔4aに空気抜きポンプの管Pを挿入する。
- 3)、空気抜きポンプ(図示せず)を作動させ容器本体2内の空気を抜く。
- 4)、空気を抜き取った後、撮み片4bを撮んで、開閉弁4を左方向へ移動させ透孔3aを密閉する。
- 5)、管Pを引き抜く。

【0009】つぎに、他の実施例を説明する。空気抜き開閉弁付き容器21は、蓋22aの一部に透孔23aを設けた凹部23を形成し、凹部23内に空気抜きポンプの管(図示せず)を挿入する挿入孔24aを設けると共に、撮み片24bを形成し、撮み片24bの中央に凹部23に一体的に固定したピン24cを設けて、回動可能に形成した開閉弁24を内設してある。

【0010】この実施例を使用する場合、まず撮み片24bを撮んで開閉弁24を回転させ透孔23aと挿入孔24aを合せ、挿入孔24aの上方より空気抜きポンプの管P1を挿入する。その後、空気抜きポンプ(図示せず)を作動させ容器本体内の空気を抜き、再度撮み片24bを撮み、回動させ透孔23aを密閉し、管P1を引き抜く。特にこの実施例の場合、凹部23と開閉弁24との外周の密着度が高く、外からのホコリ等が入りにくく衛生的である。

【0011】なお、上記各実施例において、容器の素材は限定せず、開閉弁においても合成ゴムや合成樹脂等を使用すればよい。また、同様の効果を有するものなら上記形状に限定しない。さらに、図6及び図7の点線で示しているように第2実施例の開閉弁24の底面を少し上げ、底面外周にOリング状の密閉部を形成してもよく、第1実施例においても同様である。

## 【0012】

【発明の効果】この発明によれば、簡単な構造により確実に容器内の空気を抜き取れると共に、管と開閉弁を同時に移動させることにより空気が漏れにくく、密閉度が高い。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の第1実施例を示す空気抜き開閉弁付き容器の縦断正面図。

【図2】この発明の第1実施例を示す空気抜き開閉弁付き容器の要部の平面図。

【図3】この発明の第1実施例を示す空気抜き開閉弁付き容器の要部の一部縦断側面図。

【図4】この発明の第1実施例を示す空気抜き開閉弁付き容器の使用例を示す管を挿入した状態図。

【図5】この発明の第1実施例を示す空気抜き開閉弁付き容器の使用例を示す密閉した状態図。

【図6】この発明の第2実施例を示す空気抜き開閉弁付き容器の要部の一部縦断正面図。

\* 【図7】この発明の第2実施例を示す空気抜き開閉弁付き容器の要部の平面図。

【図8】この発明の第2実施例を示す空気抜き開閉弁付き容器の使用例を示す使用状態図。

【符号の説明】

1 --- 空気抜き開閉弁付き容器

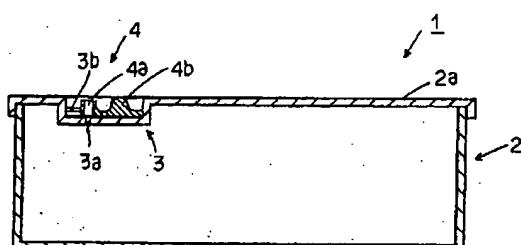
2 --- 容器本体

3 --- 四部

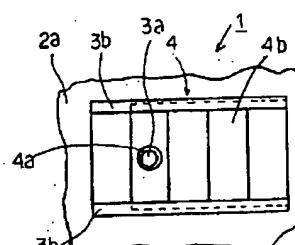
4 --- 開閉弁

\*10 P --- 空気抜きポンプの管

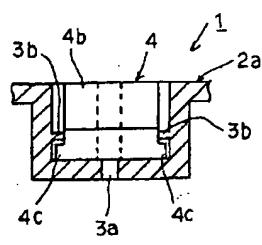
【図1】



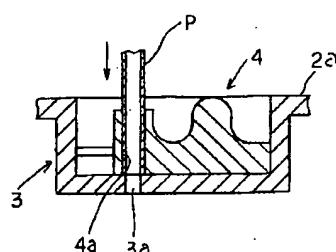
【図2】



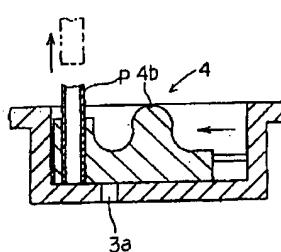
【図3】



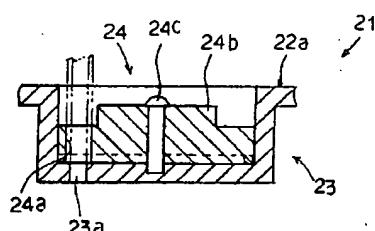
【図4】



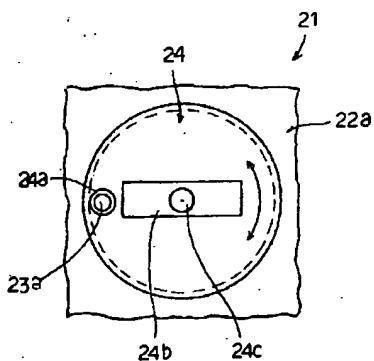
【図5】



【図6】



【図7】



【図8】

